

# Dell™ 1908FP-BLK フラットパネルモニタユーザーズガイド

[製品の特徴](#)

[モニタのセットアップ](#)


[モニタの操作](#)


[問題を解決する](#)


[付録](#)

---

## 注、注記および注意

 **注意：** 注は、コンピュータをよりよく使いこなすための重要な情報を表します。

 **注記：** モニタが正常に作動しない場合、特に異常な音や臭いが発生する場合は、ただちに電源プラグを抜いて、デル テクニカルサポート に連絡してください。

 **注意：** 注意は、材質破損、身体の怪我、または死につながる可能性を示します。

---

本文書中の情報は、通知することなく変更することがあります。

© 2008 Dell Inc. 複製を禁ず。

Dell社の書面による許可なしには、いかなる方法による複製も 厳禁します。

本テキストで使用した商標 *Dell*、*DELL* ロゴ、*Inspiron*、*Dell Precision*、*Dimension*、*OptiPlex*、*Latitude*、*PowerEdge*、*PowerVault*、*PowerApp* および *Dell OpenManage* は、Dell社の商標です。*Microsoft*、*Windows*、および *Windows NT*は、マイクロソフト社の登録商標です。*Adobe*はAdobe Systems社の商標で、一部の管轄区域で登録されていることがあります。*ENERGY STAR*は、米国環境保護省の登録商標です。*ENERGY STAR* パートナーとして、DELL社は、本製品がエネルギー効率に関して、*ENERGY STAR* ガイドラインに対応することを確認しました。

マークおよび名称を請求する団体またはその製品を参照するために、本文書中で、その他の商標および商号を使うことがあります。Dell社は、自社以外の商標および商号の所有権を放棄します。

---

**Model 1908FPt, 1908FPf, 1908FPb**

**2008年 9月 Rev. A00**

[目次に戻る](#)


## 製品の特徴

**Dell™ 1908FP-BLK** フラットパネルモニタユーザーズガイド

- [同梱されているもの](#)
- [製品の特徴](#)
- [部品とコントロールの確認](#)
- [モニター仕様](#)
- [プラグアンドプレイ機能](#)
- [保守のガイドライン](#)

## 同梱されているもの

モニターには次のコンポーネントが付属しています。コンポーネントがすべて揃っていることを確認します。足りないコンポーネントがある場合は、[デルまでご連絡](#)ください。

 **注意:** オプションのアイテムによってはモニターに付属していないことがあります。また、機能やメディアによっては特定の国で使用できないことがあります。

	<ul style="list-style-type: none"><li>● スタンド付きモニター</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>● スタンド</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>● USBアップストリームケーブル</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>● 電源ケーブル</li></ul>

	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• VGA ケーブル</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• DVI ケーブル</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ドライバとドキュメント メディア</li> <li>• クイックセットアップガイド</li> <li>• 安全情報</li> </ul>

## 製品の特徴

**Dell™ 1908FP-BLK** フラットパネルディスプレイにはアクティブマトリックス、薄膜トランジスタ(TFT)、液晶ディスプレイ(LCD)が搭載されています。モニターには、以下が含まれます。

- 19インチ(481.9mm)表示可能領域のディスプレイ(対角で測定)。
- 1280 x 1024 解像度、さらには低い解像度の場合は全画面サポート。
- 広い表示角度により、座った位置からでも立った位置からでも、または横に動きながらでも見ることができます。
- 取り外し可能台座とVESA 100 mm取り付け穴で柔軟な取付が可能。
- システムでサポートされている場合、プラグアンドプレイ機能。
- オンスクリーンディスプレイ(OSD)調整で、セットアップと画面の最適化が容易。
- ソフトウェアとマニュアルCDには、情報ファイル(INF)、画像カラーマッチングファイル(ICM)、および製品マニュアルが含まれています。
- 省エネ機能 (エネルギースターに準拠)。
- セキュリティロックスロット
- アセットマネジメント対応

## 部品とコントロールの確認

### 正面図



正面図



前面パネルのコントロール

- 1 ビデオ入力選択
- 2 OSDメニュー/選択ボタン
- 3 明るさとコントラスト / ダウン (-) ボタン
- 4 自動調整 / アップ (+) ボタン
- 5 電源ボタン (電源ライトインジケータ付き)

## 後方図



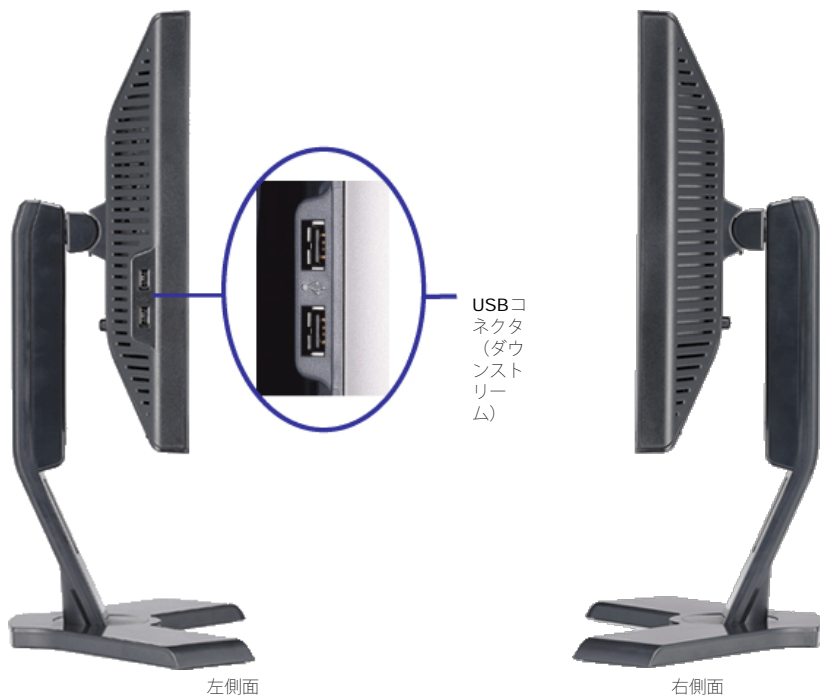
後方図



背面図(モニタのスタンド付き)

- |   |  |   |
|---|--|---|
| 1 | VESA 取付ホール(100mm)<br>(取り付けたベースプレートの背面) | これを使って、モニターを取り付けます。                         |
| 2 | バーコード・シリアル番号ラベル                        | Dellのテクニカルサービスに問い合わせが必要な場合は、このラベルを参照してください。 |
| 3 | セキュリティ・ロック・スロット                        | スロットのあるセキュリティ・ロックを使用して、モニターを固定します。          |
| 4 | Dellサウンドバー取付ブラケット                      | オプションのDellサウンドバーを取り付けます。                    |
| 5 | 規制定格ラベル                                | 規制承認を表示します。                                 |
| 6 | スタンド取外しボタン                             | 押して、スタンドを取り外します。                            |
| 7 | ケーブル管理ホール                              | 穴に通して、ケーブルを束ねやすくします。                        |

## 側面図



## 底面図



### 底面図

- |                    |  |
|--------------------|--|
| 1 電源コネクタ           | 電源ケーブルを挿入します。  |
| 2 Dellサウンドバー電源コネクタ | サウンドバー用電源コード (オプション) を接続します。   |
| 3 DVIコネクタ          | コンピュータをDVIケーブルに接続します。  |
| 4 VGAコネクタ          | コンピュータをVGAケーブルに接続します。  |
| 5 USBアップストリーム・コネクタ | モニターに接続されたUSBケーブルをモニターとコンピュータに接続します。このケーブルを接続すると、モニターの側面および底面にあるUSBコネクタを使用することができます。 |

**6 USBコネクタ** USBデバイスを接続する。

## モニター仕様

## フラットパネル仕様

モデル	<b>1908FP-BLK</b>
スクリーン・タイプ	有効マトリックス - TFT LCD
パネルタイプ	TN
画面寸法	19インチ (19インチ表示可能画像サイズ)
事前設定ディスプレイ領域:	
水平	380 mm (14.96 インチ)
垂直	300 mm (11.81 インチ)
ピクセル・ピッチ	0.294 mm
表示角度	160°(垂直) タイプ、160°(水平) タイプ
ルミネナンス出力	300 CD/m <sup>2</sup> (タイプ)
コントラスト比	800 ~ 1 (タイプ)
面板コーティング	ハードコーティング3Hでの遮光
バックライト	CCFL (4) エッジライト・システム
応答時間	5ms一般

## 解像度

水平走査幅	30kHz~81kHz (自動)
垂直走査幅	56Hz~76Hz (自動)
事前設定の最適解像度	60Hzで1280 x 1024
事前設定の最高解像度	75Hzで1280 x 1024

## ビデオサポートモード

ビデオ表示機能 (DVI再生)	480p/576p/720p (支持 HDCP)
-----------------	--------------------------

## 事前設定ディスプレイ・モード

ディスプレイ・モード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル・クロック (MHz)	同期極 (水平/垂直)
VESA, 720 x 400	31.5	70.0	28.3	-/+
VESA, 640 x 480	31.5	60.0	25.2	-/-
VESA, 640 x 480	37.5	75.0	31.5	-/-
VESA, 800 x 600	37.9	60.0	40.0	+/+
VESA, 800 x 600	46.9	75.0	49.5	+/+
VESA, 1024 x 768	48.4	60.0	65.0	-/-
VESA, 1024 x 768	60.0	75.0	78.8	+/+
VESA, 1152 x 864	67.5	75.0	108.0	+/+
VESA, 1280 x 1024	64.0	60.0	108.0	+/+
VESA, 1280 x 1024	80.0	75.0	135.0	+/+

## 電気系統

ビデオ入力信号	アナログRGB、0.7ボルト +/-5%、正電極が75オーム入力インピーダンス デジタル DVI-D TMDS、50オーム入力インピーダンスで各微分線、正電極に対して600mV
同期入力信号	個別水平および垂直同期、電極フリーTTLレベル、SOG (複合同期オン・グリーン)
AC入力電圧/周波数/電流	100 ~ 240 VAC / 50 または 60 Hz ± 3 Hz / 1.5A (最大)

インラッシュ電流	120V: 42A (最大) 240V: 80A (最大)
----------	----------------------------------

## 物理特性

モデル	<b>1908FP-BLK</b>
コネクタ・タイプ	15-pin D-subミニ、青コネクタ、DVI-D、白コネクタ
信号ケーブル・タイプ	デジタル: 取り外し可能、DVI-D、固定ピン、モニタから取りはずして出荷 アナログ: 取外可能、D-Sub、15pins、出荷時はモニターに取付
寸法 (スタンド付き)	
高さ (圧縮)	14.26 inches (362.6 mm)
高さ (拡張)	19.39 inches (492.6 mm)
幅	16.15 inches (410.1 mm)
奥行き	7.17 inches (182.0 mm)
寸法 (スタンドなし)	
高さ	13.31 inches (338.1 mm)
幅	16.15 inches (410.1 mm)
奥行き	2.59 inches (65.9 mm)
スタンド寸法	
高さ (圧縮)	13.69 inches (347.7 mm)
高さ (拡張)	15.39 inches (391.0 mm)
幅	13.29 inches (337.6 mm)
奥行き	7.17 inches (182.0 mm)
重さ	
重さ (パッケージ含む)	16.65 lbs (7.1 kg)
重さ (スタンド・アセンブリとケーブル含む)	12.12 lbs (5.5 kg)
重さ (スタンド・アセンブリなし) (壁取付またはVESA取付用 - ケーブルなし)	8.59 lbs (3.9 kg)
スタンド・アセンブリの重さ	3.53 lbs (1.6 kg)

## 環境特性

温度:	
運転時	5°~ 35°C (41°~ 95°F)
運転停止時	ストレージ: -20°~ 60°C (-4°~ 140°F) 出荷時 -20°~ 60°C (-4°~ 140°F)
湿度:	
運転時	10%~80% (結露しないこと)
運転停止時	ストレージ: 5%~90% (結露しないこと) 出荷時: 5%~90% (結露しないこと)
高度:	
運転時	3,657.6m (12,000 ft) 最大
運転停止時	12,192 m (40,000 ft) 最大
熱発散	204.86 BTU/時 (最大) 102.43 BTU/時 (一般)

## 電源管理モード

ESAのDPM™互換ディスプレイカードまたはソフトウェアがPCにインストールされている場合、モニターは不使用時電力消費を自動的に低減します。これは電力節約モードと呼ばれます。コンピュータがキーボードやマウスといった入力デバイスから入力を検出すると、モニターは自動的に機能を回復します。この自動電力節約機能の電力消費と信号規格は以下の表の通りです:

VESAモード	水平同期	垂直同期	ビデオ	電源インジケータ	電源消費
通常運転	有効	有効	有効	緑	30W (一般) /60W (最大)
無効モード	無効	無効	空白	黄色	2W以下
スイッチを切る	-	-	-	オフ	1W以下

OSDは通常操作モードでのみ機能します。[メニュー]または[プラス]ボタンをアクティブオフモードで押すと、次のメッセージのどれかが表示されます。

アナログ入力カイン省電力モード。コンピュータの電源ボタンまたはキーボードかマウスの任意のキーを押します。

または

デジタル入力カイン省電力モード。コンピュータの電源ボタンまたはキーボードかマウスの任意のキーを押します。

コンピュータとモニターをオンにして、OSDにアクセスします。

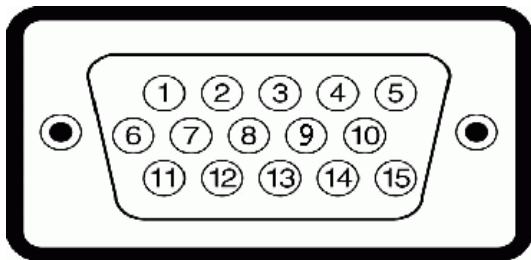


 **注意:** 本モニターは、ENERGY STAR®-準拠で、TCO '99 電源と互換性があります。

\* オフモードでのゼロ電源消費は、モニターからのメインケーブルを外してはじめて、有効になります。

## ピン割当

### VGAコネクタ

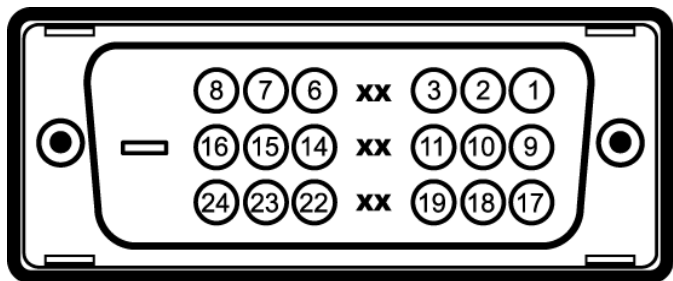


ピン番号 **15-pin** 側面信号ケーブルのモニター側面

1	ビデオ - 赤
2	ビデオ - 緑
3	ビデオ - 青
4	GND
5	自己テスト
6	GND-R
7	GND-G
8	GND-B
9	DDC +5V
10	GND
11	GND
12	DDCデータ
13	H-同期
14	V-同期
15	DDCクロック

### DVI コネクタ





ピン番号 **24-pin**側面信号ケーブルのモニター側面

1	T.M.D.S. データ2-
2	T.M.D.S. データ2+
3	T.M.D.S. データ2シールド
4	接続なし
5	接続なし
6	DDCクロック
7	DDCデータ
8	接続なし
9	T.M.D.S. データ1-
10	T.M.D.S. データ1+
11	T.M.D.S. データ1シールド
12	接続なし
13	接続なし
14	+5V電源
15	自己テスト
16	ホットプラグ検出
17	T.M.D.S. データ0-
18	T.M.D.S. データ0+
19	T.M.D.S. データ0シールド
20	接続なし
21	接続なし
22	T.M.D.S. クロックシールド
23	T.M.D.S. クロック+
24	T.M.D.S. クロック-

## ユニバーサル・シリアルバス (USB) インターフェース

このモニターは、高速認定USB2.0インターフェースをサポートしています。



	データ率	電源消費
高速	480Mbps	2.5W (最大、各ポート)
全速度	12Mbps	2.5W (最大、各ポート)
低速度	1.5Mbps	2.5W (最大、各ポート)

USBポート：

- 1アップストリーム - 後方
- 4ダウンストリーム - 後方に2つ、左側面に2つ

注意：USB2.0機能には、2.0対応コンピュータが必要です。

注意：モニターのUSBインターフェースは、モニターの電源がオンになっている場合（あるいは電源セーブモードで）のみ作動します。モニターをオフして、もう一度オンにすることで、USBインターフェースを再度数え、付属の周辺機器が数秒後、通常機能に回復させます。

## プラグアンドプレイ機能

プラグ・アンド・プレイ互換システムで、モニターをインストールすることができます。モニターがディスプレイ・データ・チャンネル (DDC) プロトコルを使って、コンピュータシステムに拡張ディスプレイ特定データ (EDID)を自動的に提供するため、システムが、自己設定により、モニター設定を最適化します。ほとんどのモニタの据付は自動です。必要な場合は、違う設定を選択できます。モニタ設定の変更の詳細については、「[モニタの操作](#)」を参照してください。

## LCDモニターの品質と画素ポリシー

LCDモニター製造プロセスの間に、1つ以上のピクセルが変わらない状態で固定されるのは珍しいことではなく、目にはほとんど見えず、ディスプレイの品質や使い勝手を損ねることはありません。デルモニターの品質とピクセルポリシーの詳細については、デルサポート ([support.dell.com](http://support.dell.com)) を参照してください。

---

## 保守のガイドライン

### モニターを清掃する



**警告:** モニターの清掃前には、[安全指示書](#)を読み、従ってください。



**警告:** モニターの清掃前には、電源コンセントからモニター電源ケーブルを外してください。

ベストプラクティスを実現するために、モニターを開梱、洗浄、または操作している間、以下のリストの指示に従ってください。

- 静電気防止スクリーンを清掃するには、柔らかい、きれいな布を水で軽く湿らせてください。できれば、特殊スクリーン清掃ティッシュまたは静電気防止コーティングに適して溶液を使用してください。ベンゼン、シンナー、アンモニア、研磨クリーナー、または圧縮空気は使用しないでください。
  - めるま湯で軽く湿らせた布を使用して、モニターを洗浄します。合成洗剤によりモニターの乳白色のフィルムがはがれることがあるため、合成洗剤の使用は避けてください。
  - モニターの梱包を開けている間に白いパウダーにお気づきになりましたら、布で拭き取ってください。
  - 暗色系モニターは明色系モニターよりも傷がつきやすく、傷が白く目立ちやすいので、注意深く取り扱いってください。
  - モニターの最高の画像品質を保てるように、ダイナミックに変化するスクリーンセーバーを使用し使用しないときはモニターの電源をオフにしてください。
- 

[目次に戻る](#)


[目次に戻る](#)

## モニターのセットアップ

Dell™ 1908FP-BLK フラットパネルモニタユーザーズガイド

- [スタンドを取り付ける](#)
- [モニターの接続](#)
- [ケーブルの整理](#)
- [サウンドバーの取り付け\(オプション\)](#)
- [スタンドを取り外す](#)
- [壁取り付け \(オプション\)](#)

### スタンドを取り付ける

 **注意:** スタンドは、モニターから取り外した状態で工場から出荷されます。



- カバーを取り外し、モニターをその上に置きます。
- スタンド上部の2つのタブをモニター背面の溝に合わせます。
- スタンドが所定の位置にフィットするまで押しつけます。

### モニターの接続

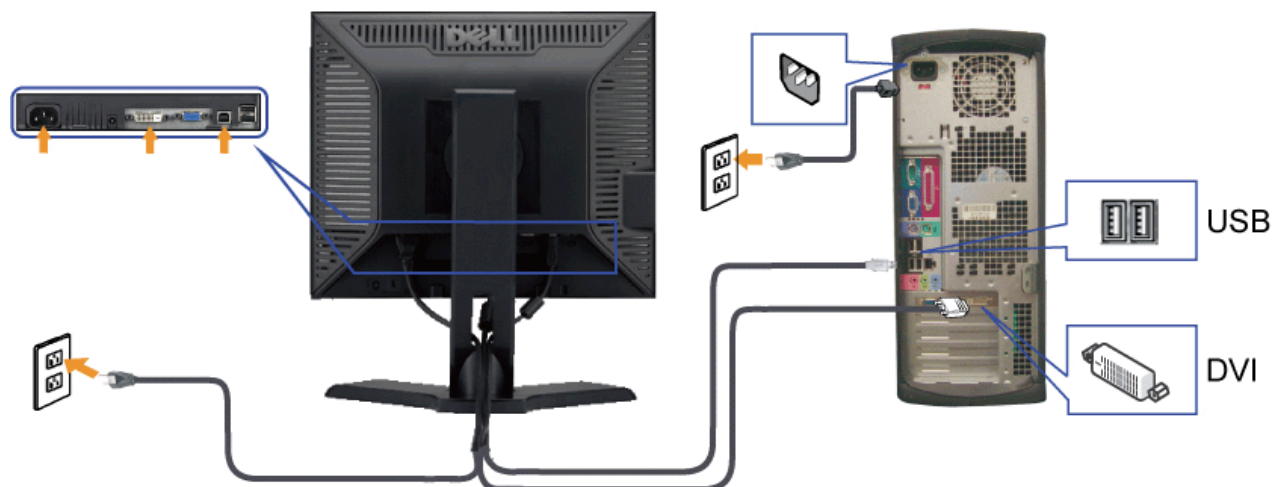
 **警告:** このセクションで手続きを始める前に、[安全指示書](#) にしたがってください。

モニタをコンピュータに接続するには、次のステップ/指示を実行してください。

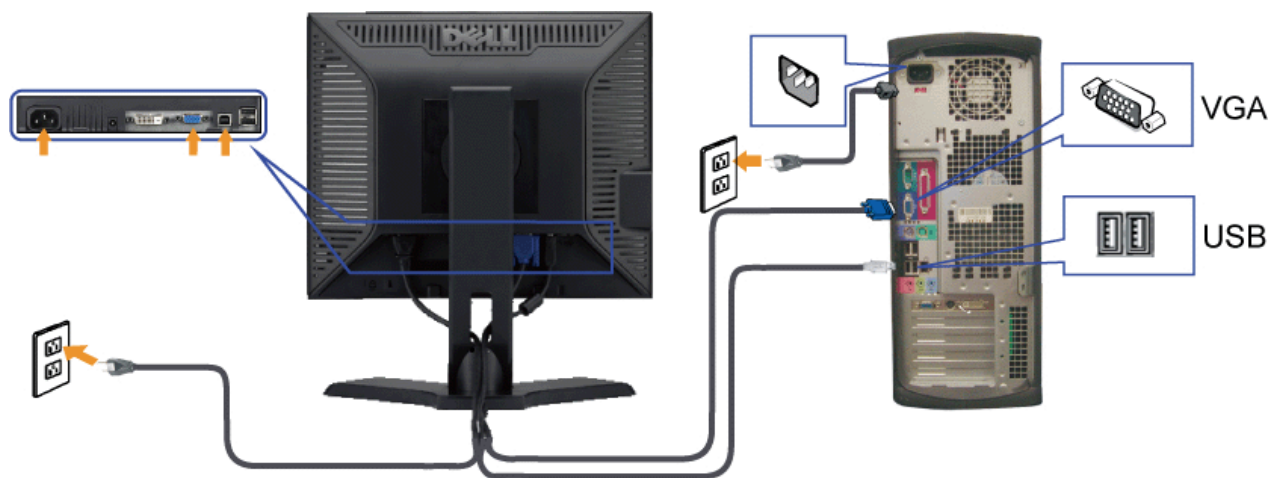
□□□ コンピュータの電源をオフにして、電源ケーブルを外します。


□□□ 白い(デジタルDVI-D)または青い(アナログVGA)ディスプレイコネクタケーブルのどちらかをコンピュータ背面の対応するビデオポートに接続します。両方のケーブルを同じコンピュータで使用しないでください。2台の異なるコンピュータが適切なビデオシステムに接続されているときのみ、両方のケーブルを使用します。

白い **DVI** ケーブルの接続



青い **VGA** ケーブルの接続



 **注意:** 画像は、実例を示す目的で使用されます。コンピュータの外観は異なることがあります。

## ケーブルの整理



モニターおよびコンピュータに必要なケーブルすべてを取り付けた後、(ケーブルの取り付けについては、[モニターを接続する](#) を参照してください) 上記のとおり、ケーブル・ホルダーを使って、すべてのケーブルを適切に調整します。

## サウンドバーの取り付け(オプション)



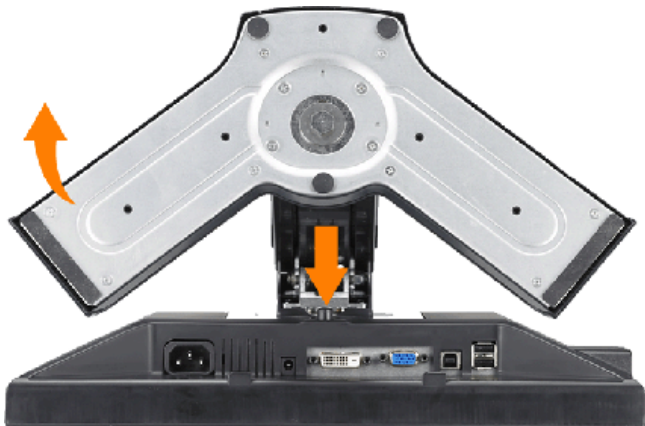
➡ **注記:** Dell サウンドバー以外のデバイスと一緒に使用しないでください。

1. モニター背面から、2つのスロットをモニター背面の下部沿いにある2つのタブに合わせながら、サウンドバーを取り付けます。
2. サウンドバーが所定の位置にはめ込まれるまで、サウンドバーを左側にスライドさせます。
3. サウンドバーをDellサウンドバー電源コネクタに接続します（詳細については、[底面図](#)を参照してください）
4. サウンドバー背面から出る黄緑色のミニステレオプラグを、コンピュータのオーディオ出力ジャックに挿入します

## スタンドを取り外す

🔪 **注意:** スタンドを取り外している間に LCD 画面に傷が付かないように、モニタがきれいな表面に配置されていることを確認してください。

スタンドの取り外し方:



- スタンドリリースボタンを押し下げます。
- スタンドを持ち上げ、モニタから離します。

## 壁取り付け (オプション)



(ねじ寸法: M4 x 10mm)

VESA 対応ベース取り付けキットに同梱されている説明書を参照してください。

- 安定した平らなテーブルに柔らかい布を広げて、その上にモニターパネルを置きます。
- スタンドを取り外します。
- スクリュードライバーを使って、プラスチックカバーを固定している 4 本のねじを取り外します。
- 壁取り付けキットの取付ブラケットを LCD に取り付けます。
- ベース取り付けキットに同梱されている説明書に従って LCD を壁に取り付けます。

🔪 **注意:** 最小質量/負荷容量 4.36kg の UL 規格壁取付ブラケットを使用する場合のみ。

[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

## モニターの操作


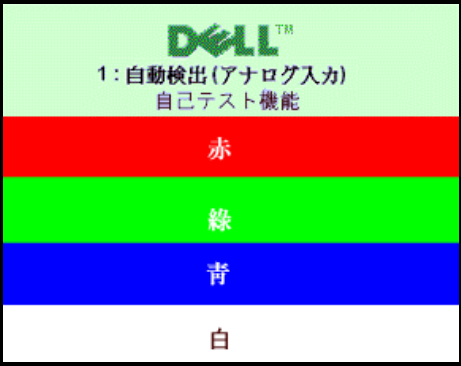

**Dell™ 1908FP-BLK** フラットパネルモニターユーザーズガイド





- [前面パネルコントロールの使用](#)
- [オンスクリーンディスプレイ\(OSD\)の使用](#)
- [最適解像度を設定する](#)
- [Dellサウンドバー \(オプション\) を使う](#)
- [傾き、回転および高さを利用する](#)
- [モニターの回転を変更する](#)

### 前面パネルコントロールの使用

モニター前面のコントロールボタンを使用して、表示されている画像の特性を調整します。これらのボタンを使用してコントロールを調整するとき、OSDが変更される特性の数値を示します。




前面パネルボタン	説明
 <p data-bbox="163 1040 317 1062">入力ソースの選択</p>	<p data-bbox="373 911 1220 932">入力選択ボタンを使って、モニターに接続する2つの異なるビデオ信号の間のいずれかを選択します。</p> <p data-bbox="373 953 1839 1023">VGA と DVI ケーブルを1台のPCに接続してある場合、ビデオ信号がVGAまたは DVI 出力のいずれかにあるかぎり、このモニターは、自動的に画像を表示します。1つのディスプレイを2台のPCに接続する場合、スクリーンセーバーを使っている場合は、両方の時間を正確に合わせてください。マウスをはじめに動かしたほうが、ビデオ入力をはじめに起動します。</p> <p data-bbox="373 1044 1524 1114"><b>注意:</b> モニタがビデオ信号を感知できない場合、黒い背景に、フローティング[Dell自己診断機能チェック] ダイアログが表示されます。入力選択ボタンを使って、アナログ入力またはデジタル入力いずれか、試験する対象となる入力を選択します。ディスプレイ操作が正しい場合、ビデオカードからビデオケーブルを外すと、[Dell自己診断機能チェック]ダイアログが表示されます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="611 1127 1068 1490">  </div> <div data-bbox="1075 1295 1136 1317" style="font-size: small;">または</div> <div data-bbox="1140 1127 1598 1490">  </div> </div>

	 <p>Dell™ 2: アナログ入力 自己テスト機能</p> <p>赤 緑 青 白</p>	 <p>Dell™ 3: デジタル入力 自己テスト機能</p> <p>赤 緑 青 白</p>
 OSDメニュー/選択	<p>メニューボタンを使って、画面上表示 (OSD)を開いて終了し、メニューおよびサブメニューを終了します。 <a href="#">OSDメニューを使う。</a></p>	
 ダウン (-) およびアップ (+)	<p>これらのボタンを使って、OSDメニューの項目 (幅の減少/増加) を調整します。</p>	
 明るさ/コントラスト	<p>このボタンを使って、明るさ/コントラストメニューを起動します。</p>	
 Auto Adjust	<p>このボタンを使って、自動設定および調整を有効にします。モニターが電流入力力を自己調整するときに、黒スクリーン上に次のダイアログボックスが表示されます。</p> <div data-bbox="369 894 877 1016" style="background-color: black; color: white; text-align: center; padding: 10px;"> <p>自動調整中...</p> </div> <p>自動調整ボタンを使って、モニターが入力ビデオ信号に対して自己調整できます。自動調整を使った後、OSDのピクセル・クロック (粗い)、フェーズ (微調整) コントロールを使って、モニターをさらに調整できます。</p> <p> 注意: 自動調整は、有効ビデオ入力信号または付属ケーブルがない状態でボタンを押した場合には、発生しません。</p>	
 電源ボタンとインジケータ	<p>電源ボタンを使って、モニターをオンおよびオフにします。</p> <p>緑のライトは、モニターがオンで、完全に機能していることを表します。別のライトは、電源セーブ・モードを表します。</p>	

## オンスクリーンディスプレイ (OSD) の使用

### メニューシステムへのアクセス

 注意: 設定を変更し、別のメニューに進むか、またはOSDメニューを終了する場合、モニターは、その変更を自動的に保存します。変更は、設定を変更し、OSDメニューが消えるのを待つ場合も保存されます。

1. メニューボタンを押して、OSDメニューを開き、メインメニューを表示します。  
自動検出アナログ (VGA) 入力用メインメニュー                      自動検出デジタル (DVI) 入力用メインメニュー



または



アナログ (VGA) 入力用メインメニュー

デジタル (DVI) 入力用メインメニュー

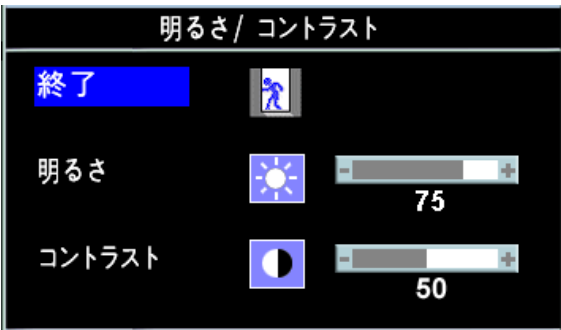
または





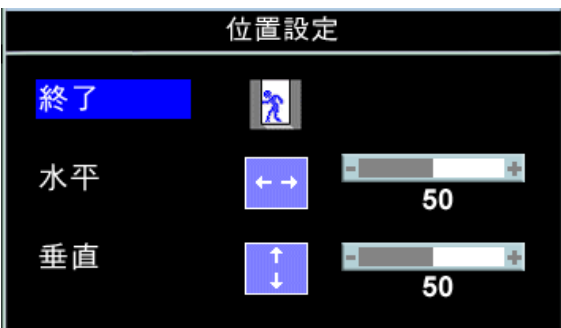
- 注意：自動調整、位置設定および画像設定は、アナログ (VGA) コネクタ使用時のみ有効です。
- および + ボタンを押して、設定オプションを移動します。アイコンからアイコンに移動するときに、オプション名をハイライトします。モニター用に利用できるオプションすべての完全リストは、下表を参照してください。
  - メニューボタンを一回押して、ハイライトされたオプションを有効にします。
  - および + ボタンを押して、必要なパラメータを選択します。
  - メニューを押して、スライドバーを入力し、次に、メニュー上のインジケータにしたがって、- および + ボタンを使って、変更します。
  - メニューボタンを一回押して、メインメニューに戻り、別のオプションを選択するか、またはメニューボタンを2回または3回押して、OSDメニューを終了します。

アイコン	メニューおよびサブメニュー	説明
	終了	メインメニューを選択して、終了します。
	明るさ/コントラスト	明るさで、バックライトのルミナンスを調整します。 最初に 明るさを調整し、さらに調整が必要な場合のみ、次に コントラストを調整します。 + ボタンを押して、ルミナンスを上げるか、- ボタンを押して、ルミナンスを下げます (最小0~最大100)。  コントラストで、モニタースクリーンの暗さと明るさの程度を調整します。  + ボタンを押して、コントラストを上げるか、- ボタンを押して、コントラストを下げます (最小0~最大100)。



位置設定：水平  
垂直

位置決めで、モニター・スクリーンの表示領域を移動させます。  
水平または垂直設定を変更する場合、表示領域のサイズを変更することはできません。選択にあわせて、画像がシフトします。  
最小値は0 (-)、および最大値は100 (+)です。

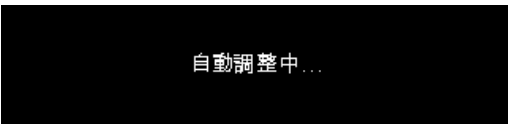


注意：DVIソースを使う場合、位置決めオプションは、利用できません。



自動調整

コンピュータで、起動時にモニターを認識している場合でも、自動調整機能で、特定設定に使う表示設定を最適化できます。  
選択すると、自動設定および調整が有効になります。モニターが電流入力を自己調整するときに、黒スクリーン上に次のダイアログボックスが表示されます。



自動調整を使って、モニターが入力ビデオ信号に対して自己調整できます。自動調整を使った後、画像設定の下でピクセル・クロック（粗い）、フェーズ（微調整）コントロールを使って、モニターをさらに調整できます。

注意：ほとんどの場合、自動調整で、設定に最適な画像が生成されます。



イメージ設定：  
周波数(粗い)  
フェーズ(細かい)

フェーズおよびピクセル・クロック調整で、モニターをお好みにより近く調整することができます。これらの設定は、画像設定を選択することで、メインOSDメニューからアクセスできます。  
- および + ボタンを使って、調整します。（最小：0～最大：100）  
フェーズ調整を使った結果がよくない場合、ピクセル・クロック（粗い）を使い、次にフェーズ（細かい）をもう一度使います。  
 注意：この機能で、表示画像幅を変更できます。位置メニューの水平機能を使って、スクリーン上の表示画像をセンタリングします。



注意：DVIソースを使う場合、画像設定オプションは、利用できません。



カラー設定

色設定で、色温度、色合いおよび飽和度を調整します。

色合いは、白領域でもっとも分かりやすくなります。



標準プリセット

- 標準プリセットは、デフォルト（工場出荷時）色設定を取得するのに選択します。この設定は、sRGB標準デフォルト色スペースにもなります。

青プリセット

- 青プリセットは、青褐色を取得するのに選択します。この色設定は、ふつうテキスト・ベースのアプリケーション（スプレッドシート、プログラミング、テキスト・エディタなど）に使います。

赤プリセット

- 赤プリセットは、赤褐色を取得するのに選択します。この色設定は、ふつう色集中アプリケーション（写真画像編集、マルチメディア、ムービーなど）に使います。

ユーザ

- ユーザ：プラスおよびマイナスボタンを使って、0~100まで1桁ずつ、3色それぞれ（R、G、B）を増減します。



OSD設定：

場所、メニューが画面上にある時間数およびOSDの回転を含めて、OSDの設定を調整します。



水平位置

OSDの位置

- OSDの水平位置を調整するには、
  - および + ボタンを使って、OSDを左右に移動させます。
- OSDの垂直位置を調整するには、- および + ボタンを使って、OSDを上下に移動させます。



垂直位置

OSD表示時間

OSD表示時間

  	<p><b>OSD回転</b></p> <p><b>OSDロック</b></p>	<p>OSDは、使用中は有効のままになります。 ホールドタイムを調整し、最後にボタンを押した後にOSDが有効になっている時間を設定します。 - および + ボタンを使って、5〜60秒までで、5秒ずつスライダーを調整します。</p> <p>OSD回転： OSDを反時計回りに90°回転させます。 <a href="#">モニターの回転</a> セクションにしたがって、調整します。</p> <p>OSDロック： 調整に対するユーザアクセスを管理します。 [はい] (+)を選択した場合、ユーザ調整はできません。 メニューボタン以外は、ボタンはすべて、ロックされます。</p> <p> 注意： OSDがロックされている場合、メニューボタンを押すと、OSDロックを選択した状態で、ユーザは直接OSD設定メニューに進みます。 [いいえ] (-)を選択して、ロック解除して、ユーザは適用可能なすべての設定にアクセスできます。</p> <div data-bbox="472 289 1102 833" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>画面表示 (OSD)</b></p> <p><b>終了</b> </p> <p><b>水平位置</b>  <span style="margin-left: 100px;">50</span></p> <p><b>垂直位置</b>  <span style="margin-left: 100px;">50</span></p> <p><b>OSD 表示時間</b>  <span style="margin-left: 100px;">20 Sec</span></p> <p><b>OSD 回転</b>  -いいえ はい+</p> <p><b>OSD ロック</b>  -いいえ はい+</p> </div> <p> 注意： メニューボタンを15秒間押し続けて、OSDをロックまたはロック解除することもできます。</p>
	<p>言語</p>	<p style="text-align: center;"><b>言語</b></p> <div data-bbox="472 849 898 1279" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p> <b>終了</b></p> <p> English</p> <p> Español</p> <p> Français</p> <p> Deutsch</p> <p> 日本語</p> </div> <p>5ヶ国語（英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語または日本語）のうち1つでOSD表示を行うように選択できます。</p> <p> 注意： 変更によって、OSDにだけ影響がですが、コンピュータで実行されているソフトウェアには影響を与えません。</p>
	<p>オーディオ（オプション）</p>	<p>モニターが電源セーブ・モードの場合、オーディオをオンまたはオフにするように選択できます。</p> <p>はい - オーディオ設定を有効にする</p> <div data-bbox="472 1369 1102 1563" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>省電力時にオーディオオン</b></p> <p> <b>いいえ-</b>  <b>はい+</b></p> </div> <p>いいえ - オーディオ設定を無効にする（デフォルト）</p> <p> 注意： Dellサウンドバーがモニターに適切に接続されていない場合、オーディオメニューは利用できません。</p>



オーディオ

OSDメニュー・オプションを工場出荷時事前設定値にリセットします。



終了 — OSDオプションをリセットせずに、工場出荷時リセットメニューを終了するように選択します。

位置設定のみ — 画像位置の設定を元の工場出荷時の設定に戻します。

カラー設定のみ — 赤、緑、および青設定を元の工場出荷時設定に戻し、通常事前設定のデフォルト設定にします。

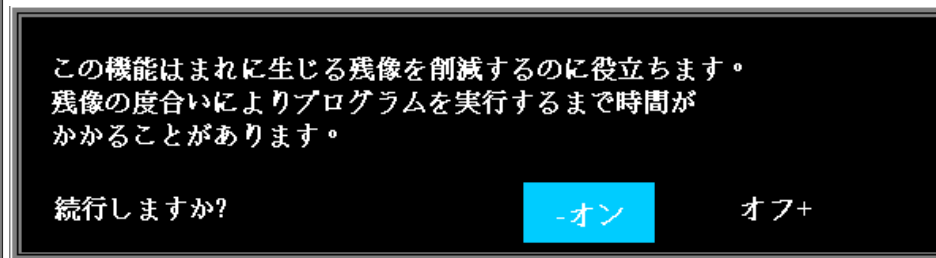
全ての設定一色、位置、明るさ、コントラストおよびOSDホールドタイムを含めたユーザ調整可能設定すべてを工場出荷時のデフォルト設定に戻します。OSDの言語は、変更されません。

IR — この機能で、小さな画像残留が補正できます。

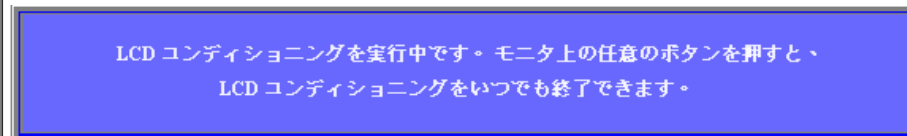
**LCD条件設定を有効にする:** モニタで画像が固まった場合、LCD条件設定を選択し、残留画像を削除します。**LCD**条件設定機能の使用には、数時間が必要な場合があります。残留画像の程度がひどいものは焼付けとして知られ、LCD条件設定機能では、この焼付けを削除することができません。

注意: 残留画像に問題が発生した場合のみ、LCD条件設定を使います。

ユーザーが[LCD条件設定を有効にする]を選択すると、下記の警告メッセージが表示されます:



注意: モニタのボタンをどれか押すと、LCD条件設定が終了できます。




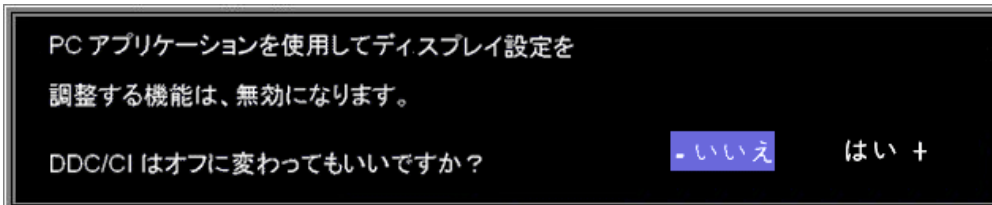
DDC/CI — DDC/CIコントロール機能を有効にします。

DDC/CI (表示データチャンネル/コマンドインターフェース)で、PC上のソフトウェアアプリケーションを使って、モニターパラメータ (明るさ、配色等)を調整できます。

デフォルトは、[有効]です。[無効]を選択して、この機能を無効にすることができます。

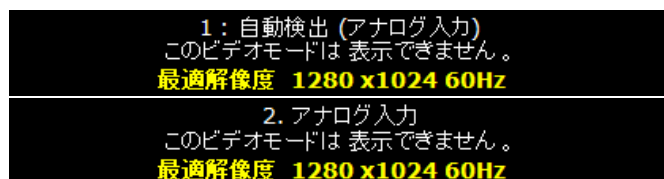
ユーザーがもっとも使いやすく、モニターの最適パフォーマンスを保つため、この機能は有効にしてください。

 注意: ユーザーが[無効]を選択する場合、下記のような警告メッセージボックスが表示されます。[はい]を選択すると、DDC/CI が無効となり、[工場出荷時にリセット]メニューに戻ります。警告メッセージは、20秒でタイムアウトとなります。

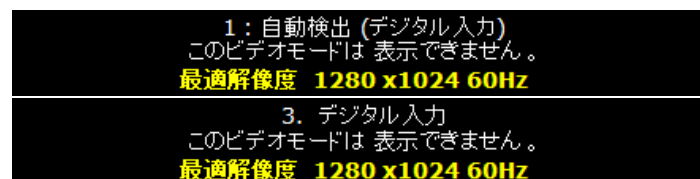


## OSD警告メッセージ

次の警告メッセージのうち1つが、スクリーンに表示され、モニターが同期していないことを表します。



または



または

これは、モニターがコンピュータから受信している信号と同期できないことを意味します。モニターで使用するには、信号が高すぎるか、または低すぎます。このモニターで使用できる水平および垂直周波数幅については、[仕様](#)を参照してください。推奨モードは、1280 X 1024 @ 60Hzです。

 注意: モニターがビデオ信号を感知できない場合は、Dell自己テスト機能チェックダイアログが別に表示されます。



または



または



警告メッセージが何も表示されないことがありますが、スクリーンには何も表示されません。これは、モニターがコンピュータに同期していないことも表しています。

詳細は、[問題を解決する](#) を参照してください。

## 最適解像度を設定する

モニタを最適の解像度に設定するには、

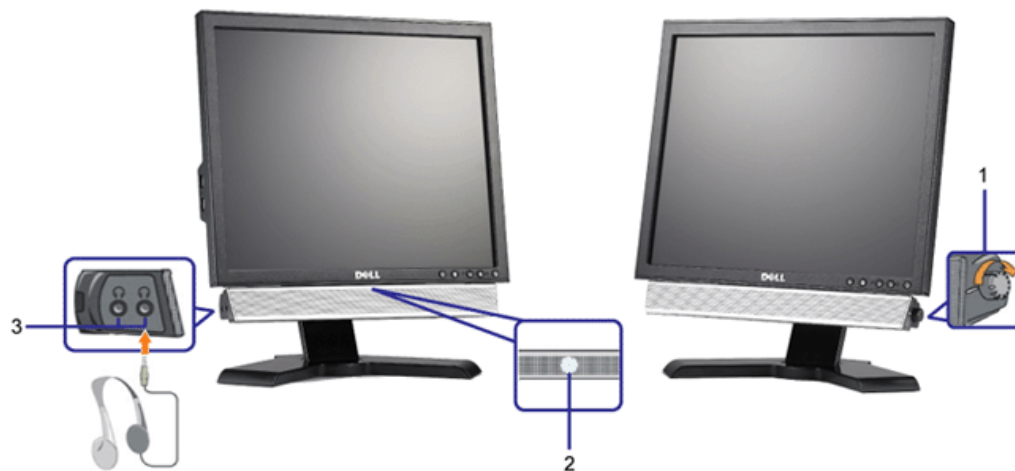
- デスクトップを右クリックして、プロパティを選択します。
- 設定タブを選択します。
- 画面解像度を **1280 x 1024** に設定します。
- OK** をクリックします。

オプションとして **1280 x 1024** がない場合は、グラフィック・ドライバを更新する必要があります。コンピュータによっては、以下の手順のいずれかを完了してください。

- Dellデスクトップまたはポータブル・コンピュータをご使用の場合：
  - [support.dell.com](#) に進み、サービス・タグを入力し、グラフィックス・カードに最新のドライバをダウンロードします。
- Dell以外のコンピュータ（ポータブルまたはデスクトップ）をお使いの場合：
  - コンピュータのサポートサイトに進み、最新のグラフィックス・ドライバをダウンロードします。
  - グラフィックス・カード・ウェブサイトに進み、最新のグラフィックス・ドライバをダウンロードします。

## Dellサウンドバー（オプション）を使う

サウンドバーには全体システム・レベルを調整する回転音量とオン/オフ・コントロール、電源表示用の白のLEDおよびオーディオ・ヘッドセット・ジャック2つが搭載されています。

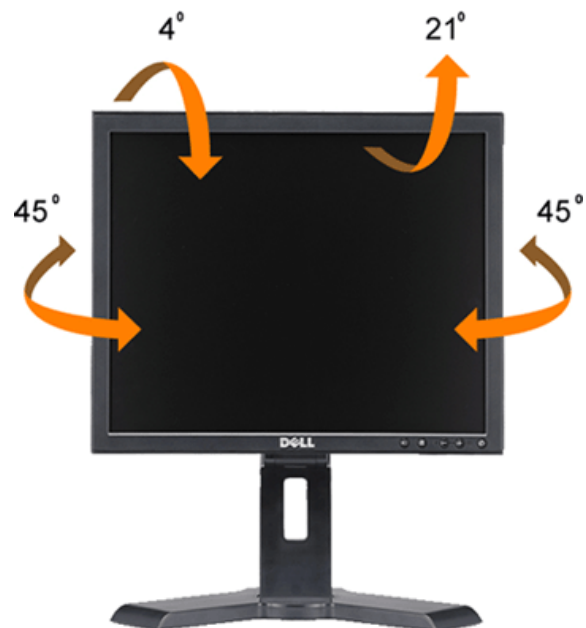



1. 電源/音量調節
2. 電源インジケータ
3. ヘッドフォン・コネクタ

## 傾き、回転および高さを利用する

### 傾斜/回転

据付の台を使って、モニタをもっとも見やすい角度に傾けたり、回したりできます。

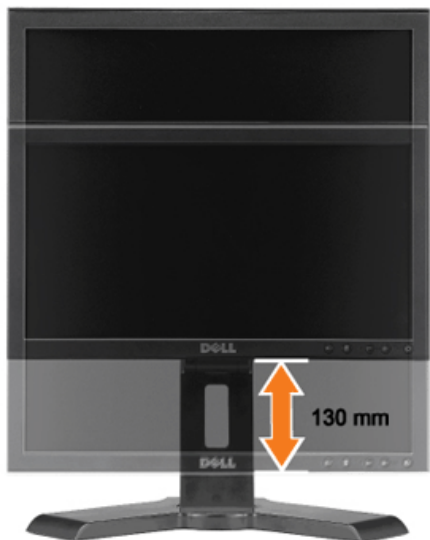


 注意: スタンドは、モニタを工場から出荷する場合に取り外し、延長します。

### 垂直延長

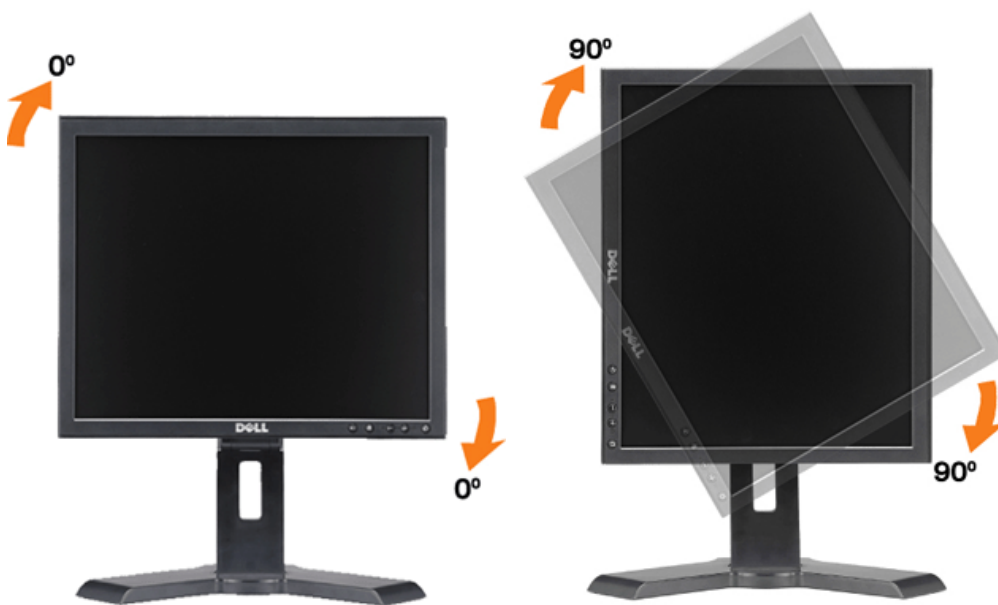
スタンドを**130mm**縦に引き伸ばすと、見やすくなります。





## モニターの回転を変更する

モニターを回転させる前に、モニターの下の方が回りにつつからないように高さ ([縦に伸ばす](#)) と角度 ([傾き](#)) を調整してください。




[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

## 問題を解決する

Dell™ 1908FP-BLK フラットパネルモニターユーザーズガイド

- [モニタのトラブルシューティング](#)
- [一般的问题](#)
- [製品別の問題](#)
- [USB 問題](#)
- [サウンドバーに関するトラブルシューティング](#)


 **警告:** このセクションで手続きをはじめの前に、[安全指示書](#)にしたがってください

## モニタのトラブルシューティング

### 自己テスト機能チェック (STFC)

お使いのモニターには、自己テスト機能が装備され、適切に機能しているかどうかを確認できます。モニターとコンピュータが適切に接続されていて、モニタースクリーンが暗い場合は、次の手順でモニター自己テストを実行してください：

- コンピュータとモニター両方の電源をオフにする。
- コンピュータの後ろかビデオ・ケーブルを外す。自己テストが適切に運用できるようにするには、コンピュータの後ろからデジタル（白コネクタ）とアナログ（黒コネクタ）ケーブル両方を外します。
- モニターの電源をオンにする。

 **注意:** モニタがビデオ信号を感知できない場合、黒い背景に、フローティング[Dell自己診断機能チェック] ダイアログが表示されます。入力選択ボタンを使って、アナログ入力またはデジタル入力いずれか、試験する対象となる入力を選択します。ディスプレイ操作が正しい場合、ビデオカードからビデオケーブルを外すと、[Dell自己診断機能チェック]ダイアログが表示されます。



ビデオ・ケーブルが外されているか、または破損している場合、通常システムの運転中、このボックスが表示されます。

- モニターの電源をオフにして、ビデオ・ケーブルを再接続し、次にコンピュータとモニター両方の電源をオンにします。




前の手順を行った後もモニター・スクリーンに何も表示されない場合、ビデオ・コントローラおよびコンピュータ・システム、およびモニターが適切に機能していることをチェックしてください。


## 内蔵診断

モニターには内蔵の診断ツールが付属しており、発生している画面の異常がモニターに固有の問題か、またはコンピュータシステムやグラフィックカードに固有の問題かを判断します。

 **注意：** 内蔵の診断は、ビデオケーブルがプラグから抜かれ、モニターが自己テストモードに入っているときのみ、実行できます。

内蔵診断を実行するには、以下の手順に従います。

- 画面がきれいであること(または、画面の表面に塵粒がないこと)を確認します。
- コンピュータの後ろかビデオ・ケーブルを外します。モニターが自己テストモードに入ります。
- 正面パネルの  と  ボタンを2秒間同時に押し続けます。グレイの画面が表示されます。
- 画面に異常がないか、慎重に検査します。
- 正面パネルの  ボタンを再び押します。画面の色が赤に変わります。
- ディスプレイに異常がないか、検査します。
- ステップ5と6を繰り返して、緑、青、白い色の画面についてもディスプレイを検査します。


白い画面が表示されると、テストは完了です。終了するには、 ボタンを再び押します。

内蔵の診断ツールを使用しているときに画面に異常が検出されない場合、モニターは適切に作動しています。ビデオカードとコンピュータをチェックしてください。

## 一般的問題

次の表には、発生する可能性のあるモニタのよくある問題と考えられる解決策に関する一般情報が含まれます。

一般症状	問題の説明	解決方法
ビデオなし/電源LEDオフ	画像なし、モニターが無効	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ビデオ・ケーブルの両端の接続統合をチェックしたら、モニターとコンピュータが、通電している電源コンセントに接続されていること、また電源ボタンを押していることを確認します</li> </ul>
ビデオなし/電源LEDオフ	画像なし、または明るさがない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• モニター正面にある入力選択ボタンを押して、入力ソースが正しく選択されていることを確認します。</li> <li>• 明るさとコントラスト・コントロールをアップします。</li> <li>• モニター自己診断テスト機能チェックを実行します。</li> <li>• ビデオ・ケーブルの両端のピンが曲がったり、壊れていないかどうかをチェックします。</li> <li>• コンピュータとモニターをリブートします。</li> </ul>
フォーカスが弱い	画像が不鮮明か、ぼやけているか、または薄れている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自動調整ボタンを押します。</li> <li>• OSDで、フェーズとクロック・コントロールを調整します。</li> <li>• ビデオ拡張ケーブルを外します。</li> <li>• モニター・リセットを行います。</li> <li>• ビデオ解像度を下げるか、フォント・サイズを大きくします。</li> </ul>
ビデオが揺れたり/ずれたりする	画像が波打ったり、微妙にぶれる	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自動調整ボタンを押します。</li> <li>• OSDで、フェーズとクロック・コントロールを調整します。</li> <li>• モニター・リセットを行います。</li> <li>• 環境係数をチェックします。</li> <li>• 場所を変えて、他の部屋でテストします。</li> </ul>
ピクセルが抜けている	LCDスクリーンに点が入る	<ul style="list-style-type: none"> <li>• サイクル電源オン - オフ</li> <li>• これらは、永久にオフになっているピクセル、およびLCD技術で発生する自然な欠陥です。</li> </ul>
明るさの問題	画像が薄すぎるか、明るすぎる	<ul style="list-style-type: none"> <li>• モニター・リセットを行います。</li> <li>• 自動調整ボタンを押します。</li> <li>• 明るさとコントラスト・コントロールを調整します。</li> </ul>
幾何歪曲	スクリーンが正確にセンタリングされていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [位置設定のみ] でモニター・リセットを行います。</li> <li>• 自動調整ボタンを押します。</li> <li>• センタリング・コントロールを調整します。</li> <li>• モニターが適切なビデオ・モードになっていることを確認します。</li> </ul>

水平/垂直ライン	スクリーンに複数の線が入る	<ul style="list-style-type: none"> <li>モニター・リセットを行います。</li> <li>自動調整ボタンを押します。</li> <li>OSDで、フェーズとクロック・コントロールを調整します。</li> <li>モニター自己テスト機能チェックを行い、これらの線が自己テスト・モードでも入るかどうかを確認します。</li> <li>ピンが曲がったり、壊れていないかどうかをチェックします。</li> </ul>
同期問題	スクリーンがスクランブル状態か、磨り減って見える	<ul style="list-style-type: none"> <li>モニター・リセットを行います。</li> <li>自動調整ボタンを押します。</li> <li>OSDで、フェーズとクロック・コントロールを調整します。</li> <li>モニター自己テスト機能チェックを行い、スクランブル状態のスクリーンが自己テスト・モードでも入るかどうかを確認します。</li> <li>ピンが曲がったり、壊れていないかどうかをチェックします。</li> <li>[セーフティ・モード] でブートアップします。</li> </ul>
LCDに傷が入っている	スクリーンに傷やスマッジが入っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>モニターの電源をオフにして、スクリーンを清掃します。</li> <li>清掃方法については、<a href="#">モニターの手入れ</a>を参照してください。</li> </ul>
安全関連問題	スモークまたはスパークの明らかな症状	<ul style="list-style-type: none"> <li>トラブルシューティング手順を実行しないでください。</li> <li>モニターの交換が必要です。</li> </ul>
断続的問題	モニターの誤作動をオンおよびオフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>モニターが適切なビデオ・モードになっていることを確認します。</li> <li>コンピュータおよびフラットパネルへのビデオ・ケーブル接続がしっかりされていることを確認します。</li> <li>モニター・リセットを行います。</li> <li>モニター自己テスト機能チェックを行い、断続的問題が自己テスト・モードでも発生するかどうかを確認します。</li> </ul>
画像の解像度(聖しか像から)	静止画像からのかすかな影画面にディスプレイが表示されます	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源管理機能を使用して、使用していないときは常にモニターの電源をオフにしてください。また、ダイナミックに変更するスクリーンセーバーを使用します。長期間モニタに残ります。</li> <li>OSDメニューでは、工場出荷時にリセットで、<b>[LCD条件設定を有効にする]</b>を選択します。このオプションを使用すると、画像が削除されるまで、数時間かかることがあります。</li> </ul> <p> 注意: 画像焼付けは、保証適用外です。</p>

## 製品別の問題

特定の症状	現況	解決方法
スクリーン画像が小さい	画像がスクリーン上でセンタリングされているが、全表示領域を満たしていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>[すべて設定] でモニター・リセットを行います。</li> </ul>
正面パネル上のボタンで、モニターを調整できない	OSDがスクリーン上に表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>モニターの電源をオフにして、電源コードを外し、もう一度コードを差し、電源を入れます。</li> </ul>

## USB 問題

特定の症状	現況	解決方法
USBインターフェースが作動していない	USB周辺機器が作動していない	<ul style="list-style-type: none"> <li>モニターの電源がオンになっているかを確認します。</li> <li>アップストリーム・ケーブルをコンピュータに再接続します。</li> <li>USB周辺機器 (ダウンストリーム・コネクタ) を再接続します。</li> <li>電源をオフにして、もう一度モニターをオンにします。</li> </ul>
高速USB2.0インターフェースが遅い	高速USB2.0周辺機器が遅いか、まったく作動しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータがUSB2.0対応かどうかを確認します。</li> <li>コンピュータのUSB2.0ソースを確認します。</li> <li>アップストリーム・ケーブルをコンピュータに再接続します。</li> <li>USB周辺機器 (ダウンストリーム・コネクタ) を再接続します。</li> </ul>

## サウンドバーに関するトラブルシューティング

一般症状	現況	解決方法
音が出ない	サウンドバーに電源が入らない - 電源インジケータがオフになっている (内臓DC電源. 例. 1908FP-BLK)	<ul style="list-style-type: none"> <li>サウンドバーの電源/音量ノブを中間位置に対して時計回りに回します。サウンドバー正面の電源インジケータ (白LED) が点灯するかどうかを確認します。</li> <li>サウンドバーからの電源ケーブルがモニターに差し込まれていることを確認します。</li> <li>モニターの電源が入っていることを確認します。</li> <li>モニターに電源が入っていない場合、モニターの一般問題について <a href="#">モニターに関するトラブルシューティング</a> を参照してください。</li> </ul>
音が出ない	サウンドバーの電源が入っている - 電源インジケータがオンになっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>オーディオ・ラインイン・ケーブルをコンピュータのオーディオ・アウト・ジャックに差し込みます。</li> <li>すべてのWindowsの音量コントロールを最大に設定します。</li> <li>コンピュータでオーディオ・コンテンツをいくつか再生します (例.オーディオCDまたはMP3)。</li> <li>サウンドバーの電源/音量ノブを高音量設定に対して時計回りに回します。</li> <li>オーディオ・ライン・プラグを清掃して、リセットします。</li> <li>別のオーディオ・ソースを使って、サウンドバーをテストします (例.ポータブルCDプレイヤー)。</li> </ul>
音が曲がっている	コンピュータのサウンドカードをオーディオ・ソースとして使います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。</li> <li>オーディオ・ラインイン・プラグがサウンドカードのジャックに完全に差し込まれていることを確認します。</li> <li>すべてのWindowsの音量コントロールを中間に設定します。</li> <li>オーディオ・アプリケーションの音量を下げます。</li> <li>サウンドバーの電源/音量ノブを低音量設定に対して反時計回りに回します。</li> <li>オーディオ・ライン・プラグを清掃して、リセットします。</li> <li>コンピュータのサウンドカードのトラブルシューティング</li> <li>別のオーディオ・ソースを使って、サウンドバーをテストします (例.ポータブルCDプレイヤー)。</li> </ul>
音が曲がっている	その他のオーディオ・ソースを使います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。</li> <li>オーディオ・ラインイン・プラグがサウンドカードのジャックに完全に差し込まれていることを確認します。</li> <li>オーディオ・ソースの音量を下げます。</li> <li>サウンドバーの電源/音量ノブを低音量設定に対して反時計回りに回します。</li> <li>オーディオ・ライン・プラグを清掃して、リセットします。</li> </ul>
音出力がアンバランス	サウンドバーの片側からだけ音が出る	<ul style="list-style-type: none"> <li>サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。</li> <li>オーディオ・ラインイン・プラグがサウンドカードまたはオーディオ・ソースのジャックに完全に差し込まれていることを確認します。</li> <li>すべてのWindowsオーディオ・バランス・コントロール (L-R) を中間に設定します。</li> <li>オーディオ・ライン・プラグを清掃して、リセットします。</li> <li>コンピュータのサウンドカードのトラブルシューティング</li> <li>別のオーディオ・ソースを使って、サウンドバーをテストします (例.ポータブルCDプレイヤー)。</li> </ul>
低音量	音量が低すぎる	<ul style="list-style-type: none"> <li>サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。</li> <li>サウンドバーの電源/音量ノブを最大音量設定に対して時計回りに回します。</li> <li>すべてのWindowsの音量コントロールを最大に設定します。</li> <li>オーディオ・アプリケーションの音量を上げます。</li> <li>別のオーディオ・ソースを使って、サウンドバーをテストします (例.ポータブルCDプレイヤー)。</li> </ul>

[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

## 付録

**Dell™ 1908FP-BLK** フラットパネルモニタユーザーズガイド

- [安全指示](#)
- [米国連邦通信委員会\(FCC\) 通告（米国内のみ） およびその他規制に関する情報](#)
- [Dellへのお問い合わせ](#)

### 警告：安全指示

 **警告:**このマニュアルで指定された以外のコントロール、調整、または手順を使用すると、感電、電氣的障害、または機械的障害を招く結果となります

安全に関する注意事項については、製品情報ガイドを参照してください。

### 米国連邦通信委員会(FCC) 通告（米国内のみ） およびその他規制に関する情報

米国連邦通信委員会(FCC) 通告（米国内のみ） およびその他規制に関する情報に関しては、規制コンプライアンスに関するウェブページ [http://www.dell.com/regulatory\\_compliance](http://www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

### Dellへのお問い合わせ

米国のお客様の場合、**800-WWW-DELL (800-999-3355)**にお電話ください。

 **注意:** インターネット接続をアクティブにしていない場合、仕入送り状、パッキングスリップ、請求書、またはDell製品カタログで連絡先情報を調べることができます。

Dellでは、いくつかのオンラインおよび電話ベースのサポートとサービスオプションを提供しています。利用可能性は国と製品によって異なり、お客様の居住地域によってはご利用いただけないサービスもあります。Dellの販売、技術サポート、または顧客サービス問題に連絡するには:

1. [support.dell.com](http://support.dell.com) にアクセスします。
2. ページ下部の **Choose A Country/Region** [国/地域の選択] ドロップダウンメニューで、居住する国または地域を確認します。
3. ページ左側の **Contact Us** [連絡先] をクリックします。
4. 必要に応じて、適切なサービスまたはサポートリンクを選択します。
5. で自分に合った Dell への連絡方法を選択します。

[目次に戻る](#)